

＜平成 26 年度＞

土木部の運営方針

土木総務課	里山みどり課
道路管理課	公園課
道路補修課	交通対策課
道路整備課	用地課

■基本情報■

＜担当事務＞

- (1) 道路及び交通に関すること。
- (2) 公園及び緑化に関すること。
- (3) 河川に関すること。
- (4) 里山の保全及び振興に関すること。

＜部の職員数＞H26年4月1日現在

正職員	114人
再任用職員	12人
任期付職員	-人
非常勤職員	1人
合計	127人

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く。

■基本方針■

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発や、快適な生活空間を創造するために緑の保全や緑化の推進に取り組みます。

また、事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加え選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めていきます。

26年度は、防災機能を兼ね添えた（仮称）東部スポーツ公園の一部開設と安全で快適な交通体系の軸となる枚方藤阪線の計画的な整備を進めます。



枚方藤阪線（天津橋工区）完成イメージ



（仮称）東部スポーツ公園完成イメージ

I 重点施策・事業

◆都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備

安全で円滑な交通体系を構築するため、交通結節点事業である津田駅東口駅前広場の整備を実施します。都市計画道路については、枚方藤阪線や御殿山小倉線、牧野長尾線の整備などを計画的に進めます。

また、東部地区については、国、府、警察と連携し交通環境改善に向け調査、計画を進めます。

広域交通ネットワークを構成する新名神高速道路やI.C.へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線の整備促進にあたっては、市民の皆様にとしっかりと情報発信を行うとともに

引き続き、事業者に対し、周辺環境に十分配慮した道路として整備されるよう働きかけていきます。

また、淀川を渡河する新橋の整備については、対岸市と連携して認識を深めるとともに、早期整備に向けて国・府への働きかけを強めます。

◆道路・公園等の効果的・効率的な維持管理

道路や公園などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所を早期に発見し、引き続き迅速な対応に努めます。

また、安全で快適な道路環境の保持並びに効果的・効率的な施設の維持管理を図るため、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、橋梁やトンネルや道路照明灯などの点検を行います。計画策定を行った橋梁の長寿命化修繕工事や耐震化、公園施設長寿命化計画に基づく改築等工事に取り組みます。

一方、近年頻発する集中豪雨などに対応するため、緊急体制の充実を図るとともに、道路排水施設等の整備・修繕に引き続き取り組みます。

◆公園の整備と緑化の推進による緑豊かな都市環境の創造

(仮称) 東部スポーツ公園については、平成27年度当初の野球場開設に向けた整備工事を行い市民のスポーツ活動の活性化を図ります。

また併せて、本市の東の玄関口として、国道307号とのエントランス部の改良工事に取り組みます。

星ヶ丘公園は計画的に用地取得を行い、自然林部分を含めた区域拡張を図り、憩いとやすらぎの場を創出します。岡東中央公園では公園利用者の利便性の向上を図るため屋外ステージに上屋を設置します。

また、環境や社会状況の変化に対応するため、「緑の基本計画」の改定に取り組むとともに、「花と緑のまちづくり基金」を活用し、市民等による民有地緑化の活動を支援し、新たに所管となった里山に係る業務を併せながら、市内の緑化を総合的に推進いたします。

◆安全・安心な交通環境の創出

人にやさしく安心な交通環境の創出のため、新たに長尾駅にバスロケーションシステムによる路線バス発着情報パネルを整備するとともに、昨年度に引き続き村野駅バリアフリー化工事を進め、市内12駅全てのバリアフリー化が完成します。

通学路などにおける安全な歩行空間の確保を図るため、JR 学研都市線の交野踏切及び第一藤阪踏切の拡幅整備に取り組むとともに、車両の安全で円滑な通行のため、宮之阪3丁目東交差点の改良整備を進めます。

自転車の安全利用をはじめとする交通ルールやマナーについて、小中学校における交通安全教育など広く普及啓発を図るとともに、道路の整備に合わせ、安全な自転車通行空間の整備に向け取り組みます。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	公園・道路・河川の日常的な維持管理についてアダプトを推進する。
27. 市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市民からの通報や要望への迅速な対応並びに災害時におけるセーフティネットの確保などの観点も含め、技能労務職員の配置について検討を進める。
37. 指定管理者制度の導入拡大	公園等の管理方法として指定管理者制度の導入に向けて引き続き検討する。
41. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ②自動車駐車場特別会計	適切な施設保全に取り組むとともに、利用率向上策を検討し良好な施設運営に努める。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
道路施設維持管理事業	道路陥没等補修の迅速な対応に努めるとともに、橋梁等道路施設の長寿命化に取組み、安全で快適な道路環境を提供する。
都市公園等維持管理事業	遊具等施設の損傷などの迅速な安全対応に努めるとともに、長寿命化に取組み、良好な公園緑地等の景観を維持し、憩いと安らぎの空間を提供する。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆部の予算は、国の経済対策で追加された平成25年度補正予算も含め、前年度比131.9%となります。
- ◆維持管理に係る経費は、引き続き、道路照明灯のLED化を進め、経費の削減に取り組めます。
- ◆市域幹線ネットワークの強化を図るため都市計画道路の建設や、防災・安全対策として通学路の改良整備や主要道路リフレッシュ事業などに国の交付金等を最大限に活用し、効果的に取り組めます。

	維持管理	建設事業	計
H25 当初	10億 2300万円	23億 3900万円	33億 6200万円
H26 当初	9億 9500万円	34億 4100万円	44億 3600万円
対前年比	97.3%	147.1%	131.9%

※各年度の事業経費は前年度補正予算の繰越額を含む

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効果的・効率的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。
- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。
- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組む、自律型職員の育成を図ります。

Ⅴ 広報・情報発信

- ◆新名神高速道路をはじめ、都市計画道路・公園等の整備は、本市のまちづくりや市民生活に与える影響も大きいことから、広報ひらかたやホームページなど適時・適切に周知が図れるよう情報発信していきます。
- ◆市民の皆様への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページの充実など、情報発信の強化に努めます。特に工事に際しては、現場の仮囲いに完成予想図や計画平面図を掲示したり、一部をスケルトンにして工事の進捗が判るようにするなど市民の皆様への理解を深めます。また、市域の里山保全に関する情報をイベントの開催や、保全活動のパネル展示等で発信していきます。



道路の穴ほこを発見したら、連絡を！！